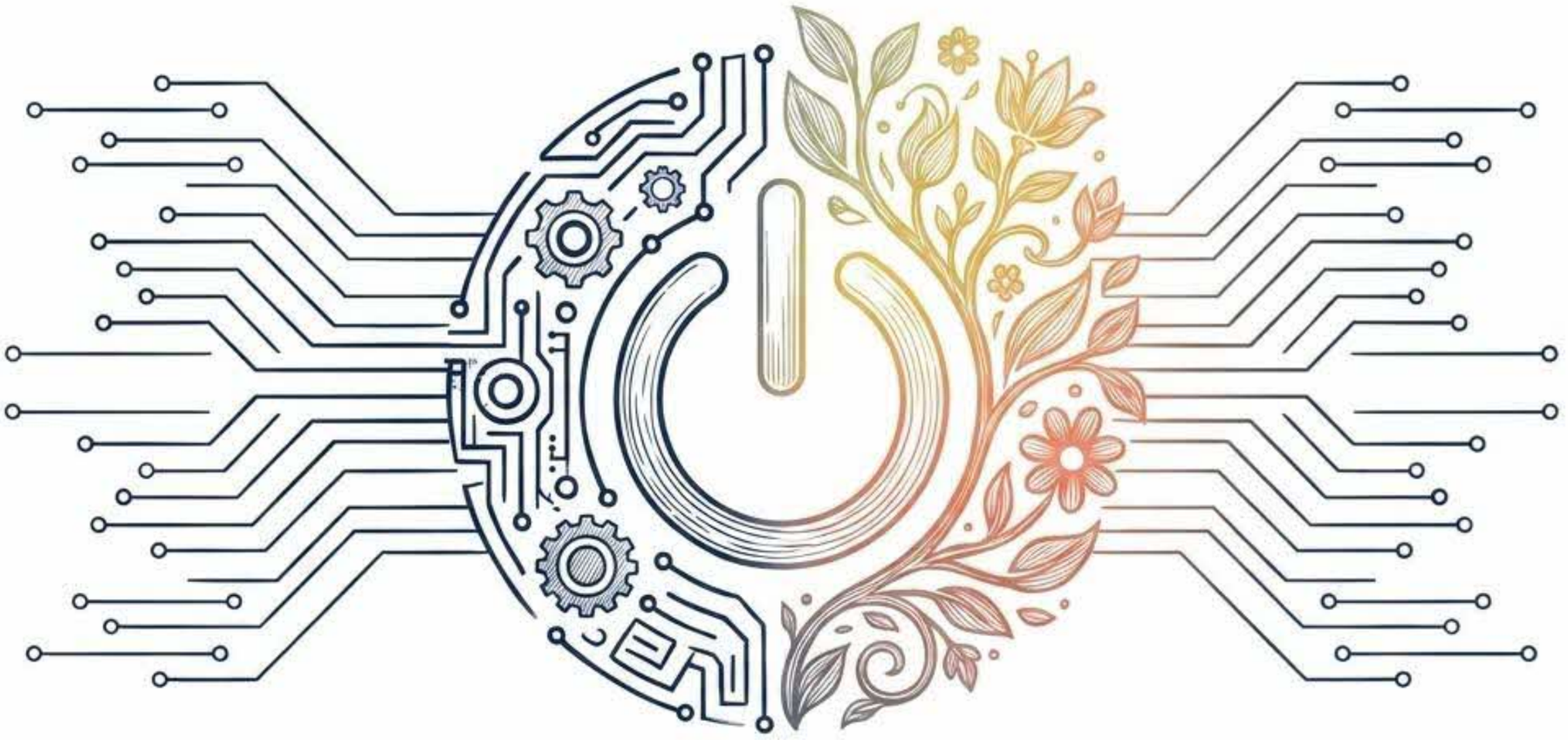


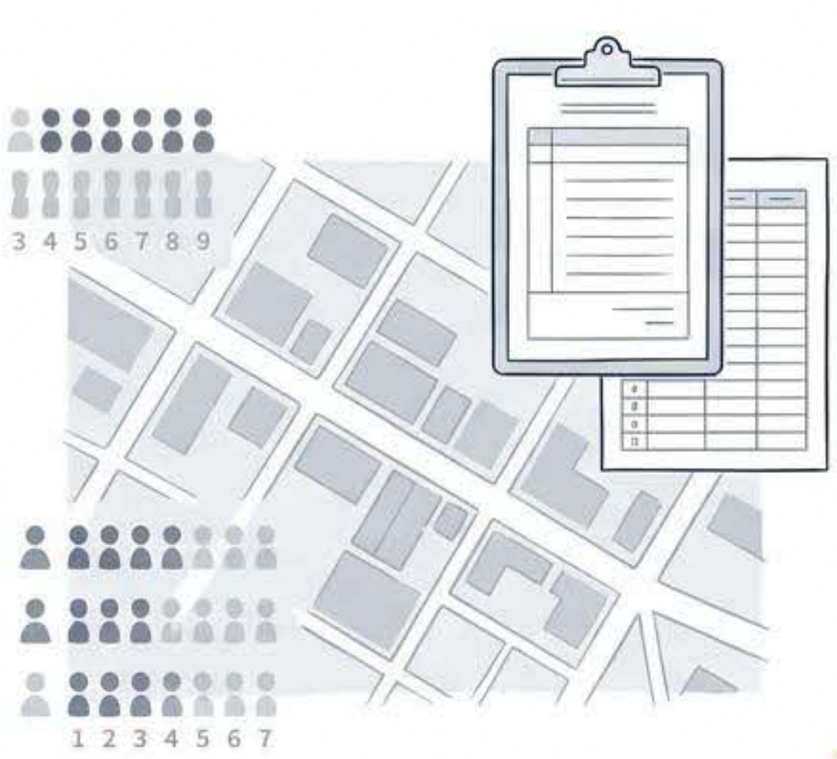
17歳、誰も手を挙げなかった総会で

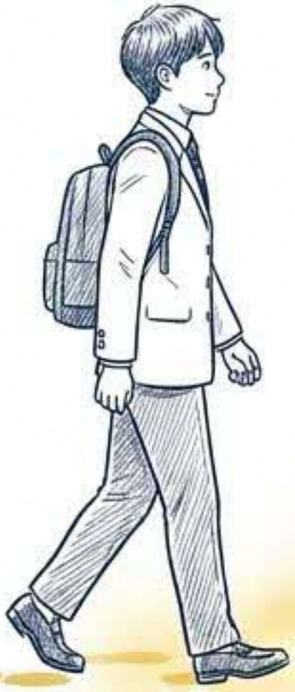
高校生町内会長が学んだ、地域を動かす『見方』と『仕組み』

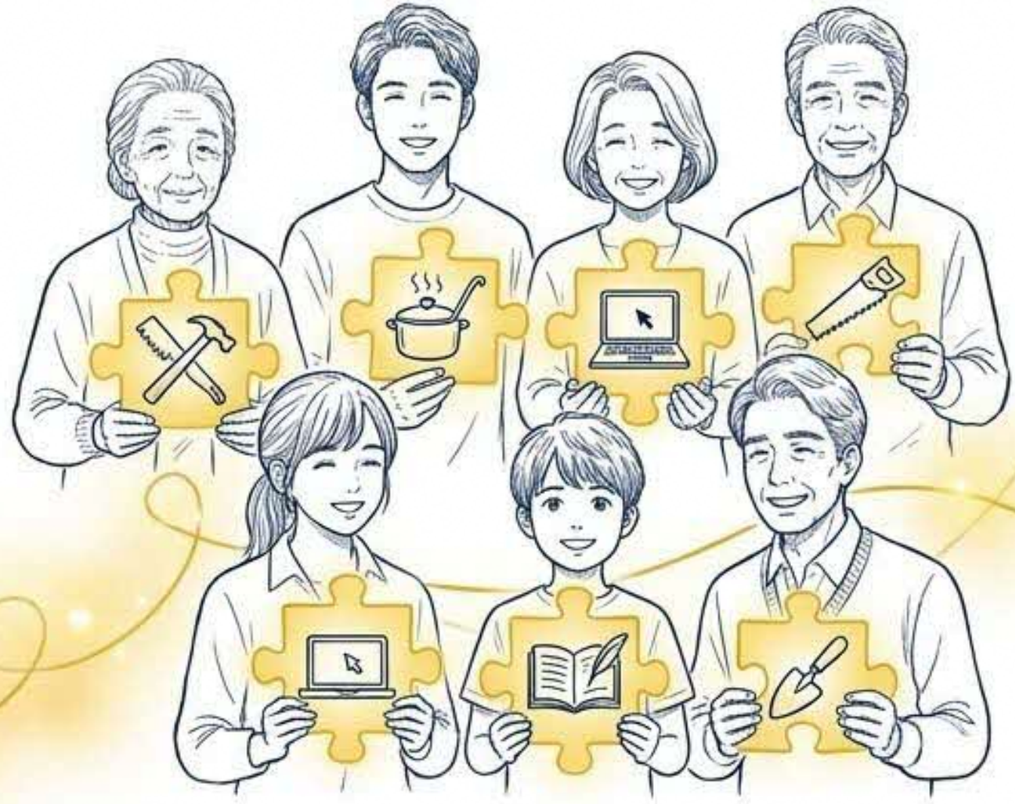
地域の担い手は、本当にいないのでしょうか。



一軒ずつ歩くと、「担い手がいない町」が「いろいろな力を持つ人がいる町」に見えてきた。

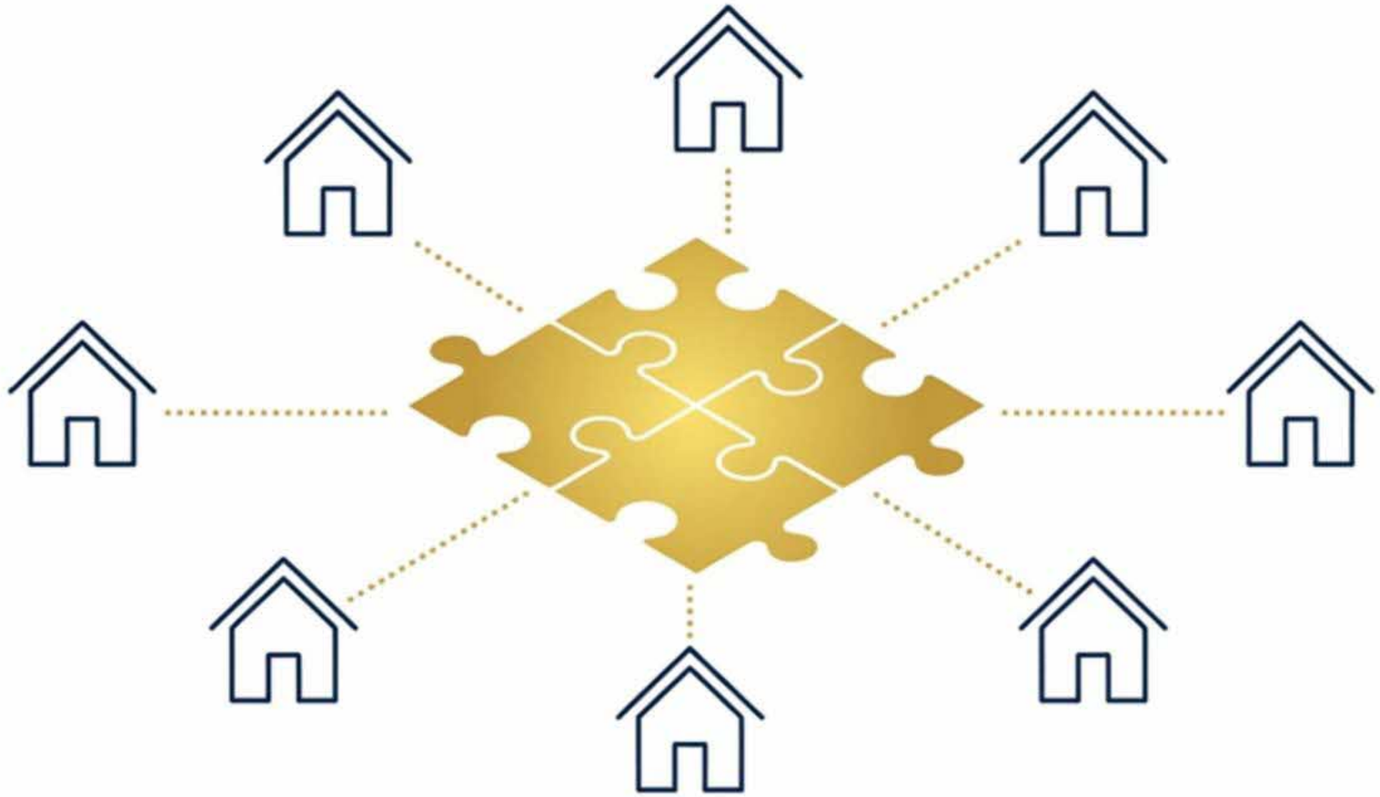






人がいないのではなく、人の力が見えていなかった。

自分にないピースは、
誰かが持っている。

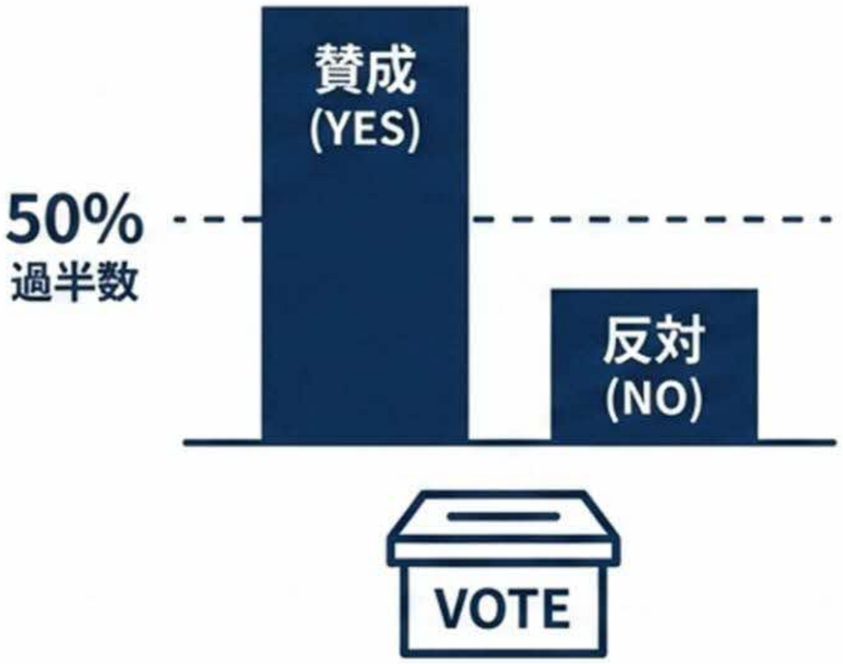


町外からも関われる会員制度



偶然の発見が、閉ざされた組織を開くアイデア（デバッグ）の鍵となった。

賛成は過半数。
けれど、反対の理由が分からなかった。





正しい案でも、信頼を置き去りにしては進めない。

賛成は過半数。それでも、僕は進めなかった。



正しさより先に、聞かなければならないことがあった。

Gemini Notebook

正しい案だけでは、
人は動かない。



コロナ禍での、
一斉清掃の中止。



月1回程度



強制しない



道具・差し入れ・寄付も参加



町内外から、
15人が集まった。



住民、大学生、子ども。関わり方も、参加理由もそれぞれだった。

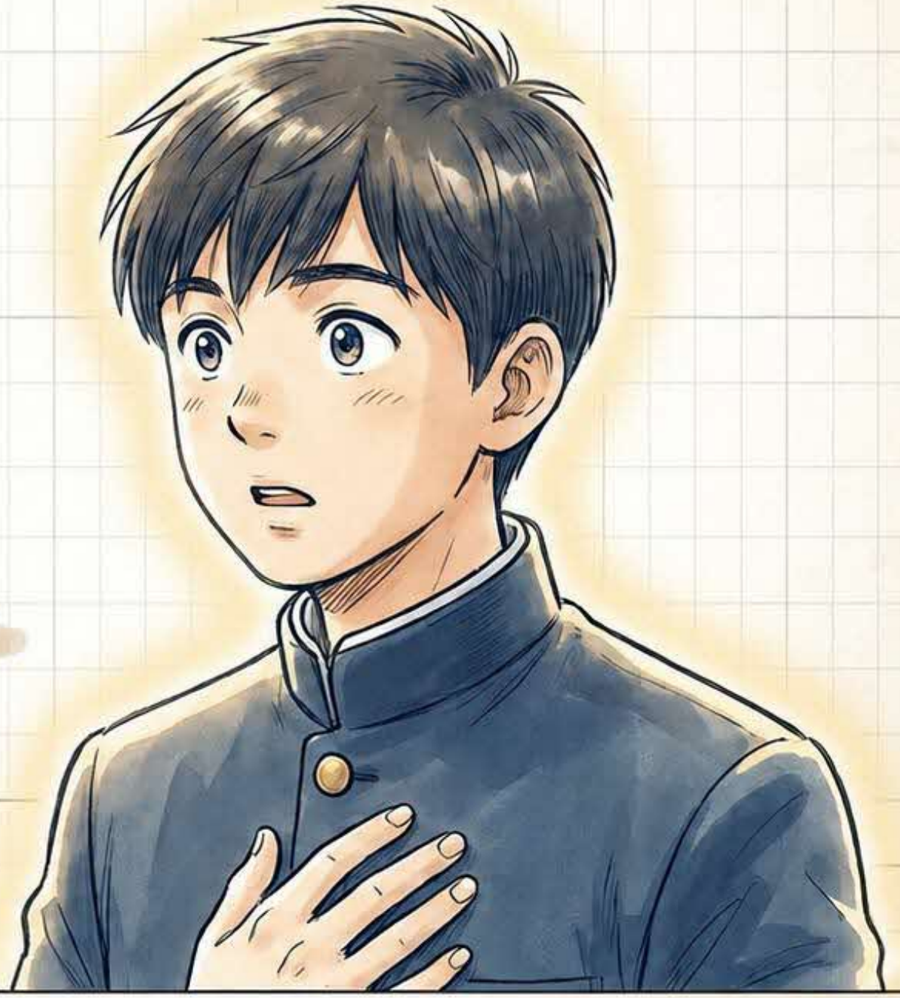
無理のない貢献の、
パズルを合わせる。



全員に同じ負担を求めず、異なる形の貢献をすべて価値として認める。

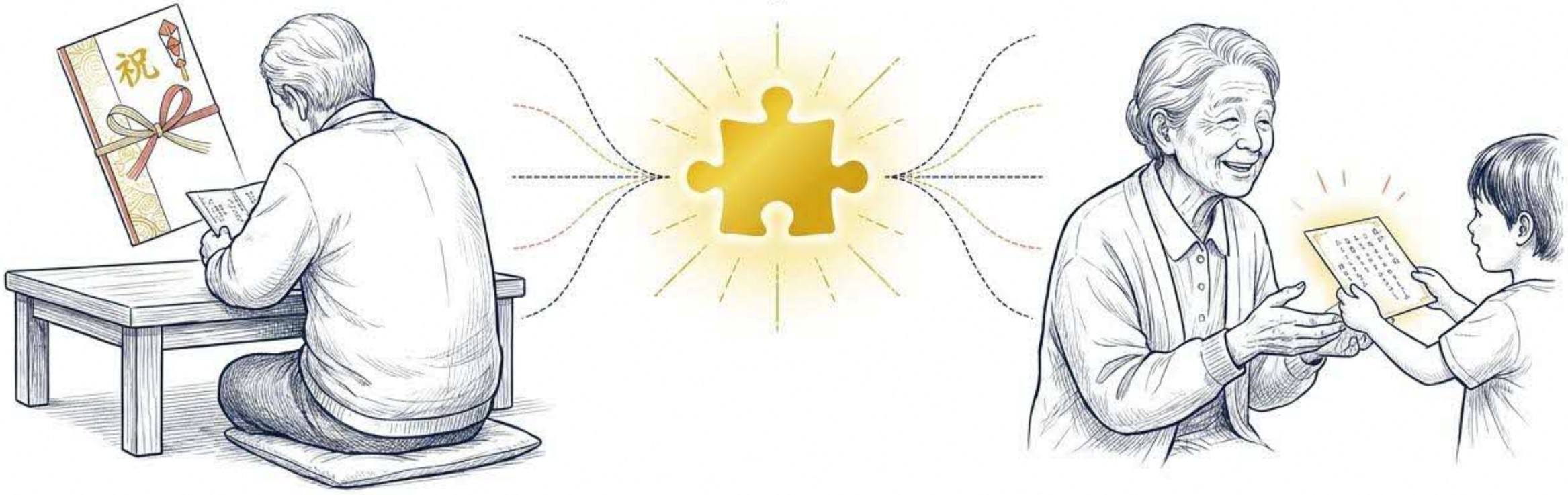
敬老の日に、
本当に届けたかったものは何だろう。





目的を残して、形を変える。

「保存」と「継承」は違う。



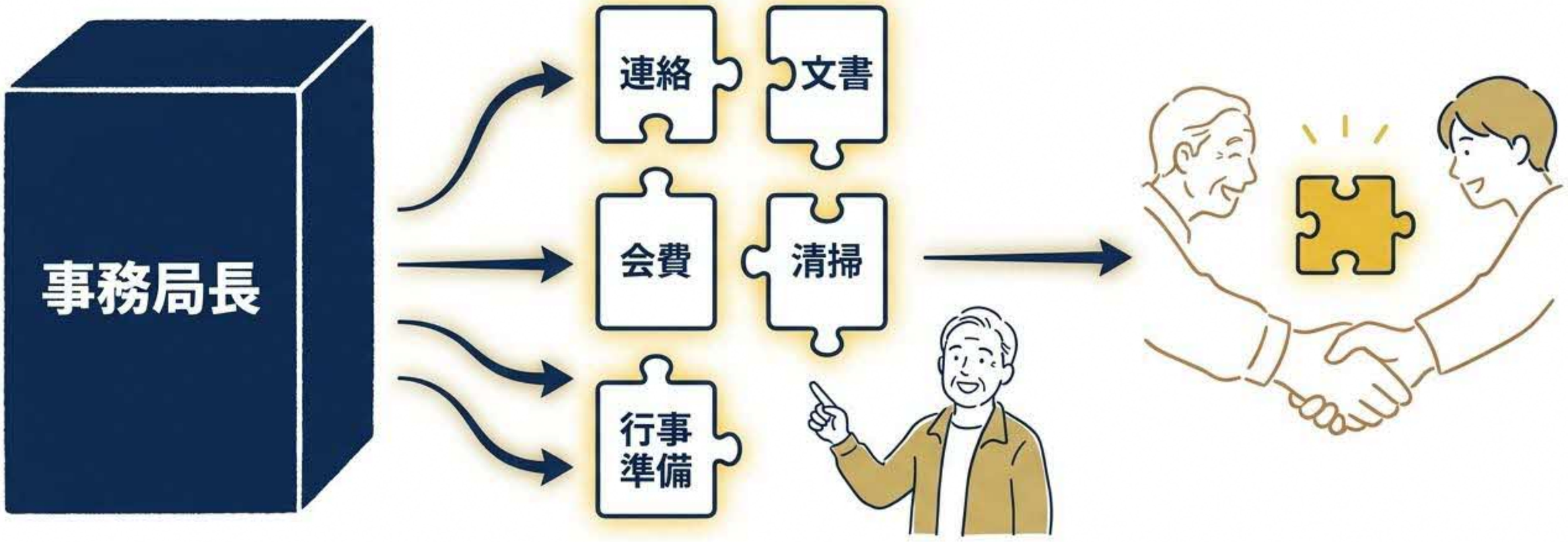
形を変えることで、残せるものもある。

役職は、大きすぎる。

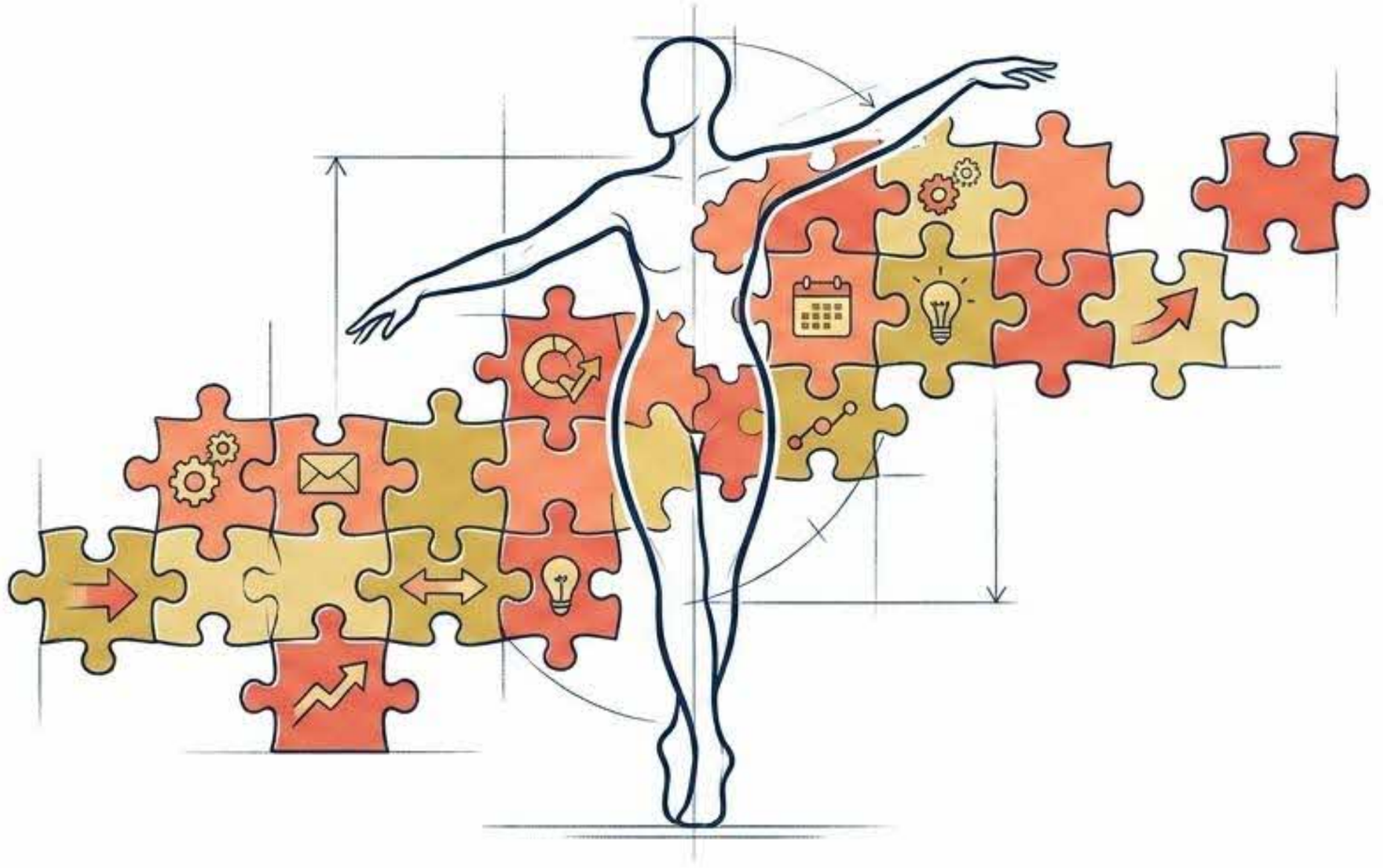


役職 → 仕事 → 引き継ぎ

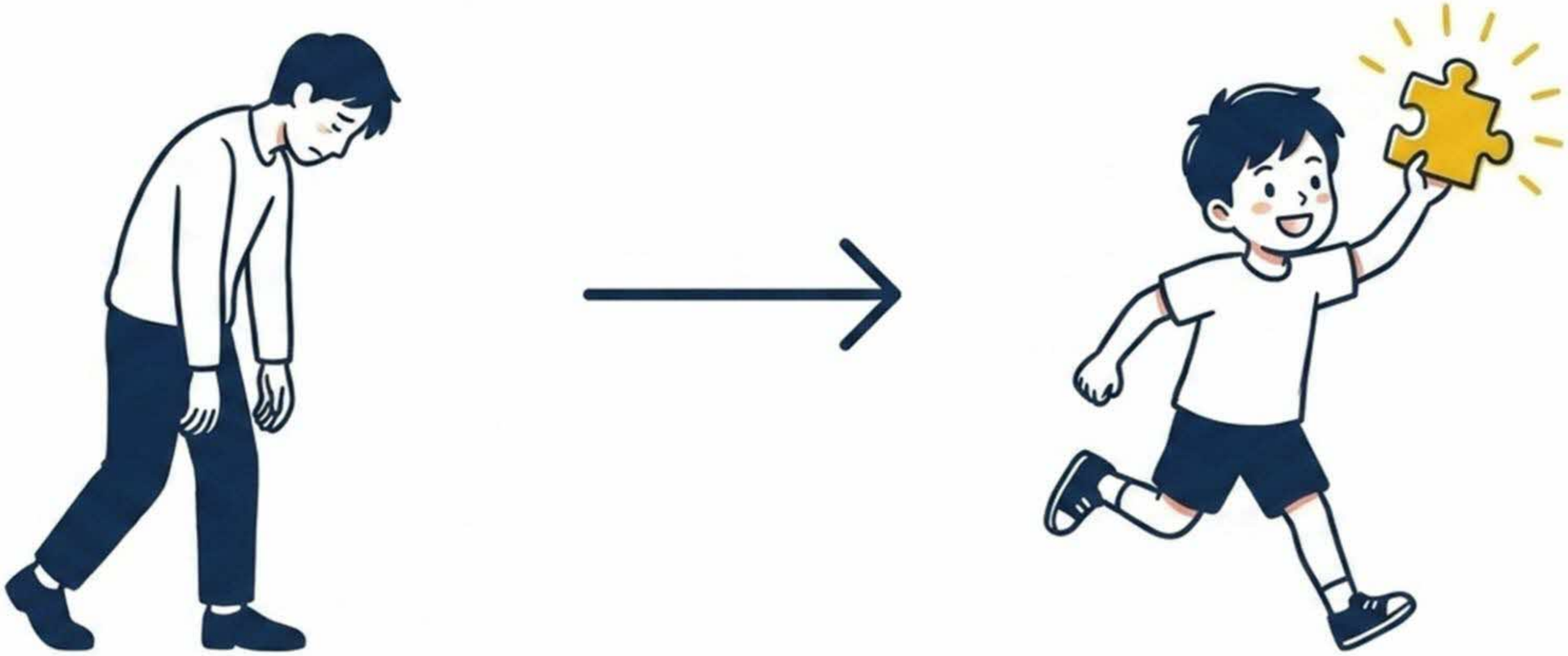
仕事を小さくすると、次の人が受け取りやすくなった。



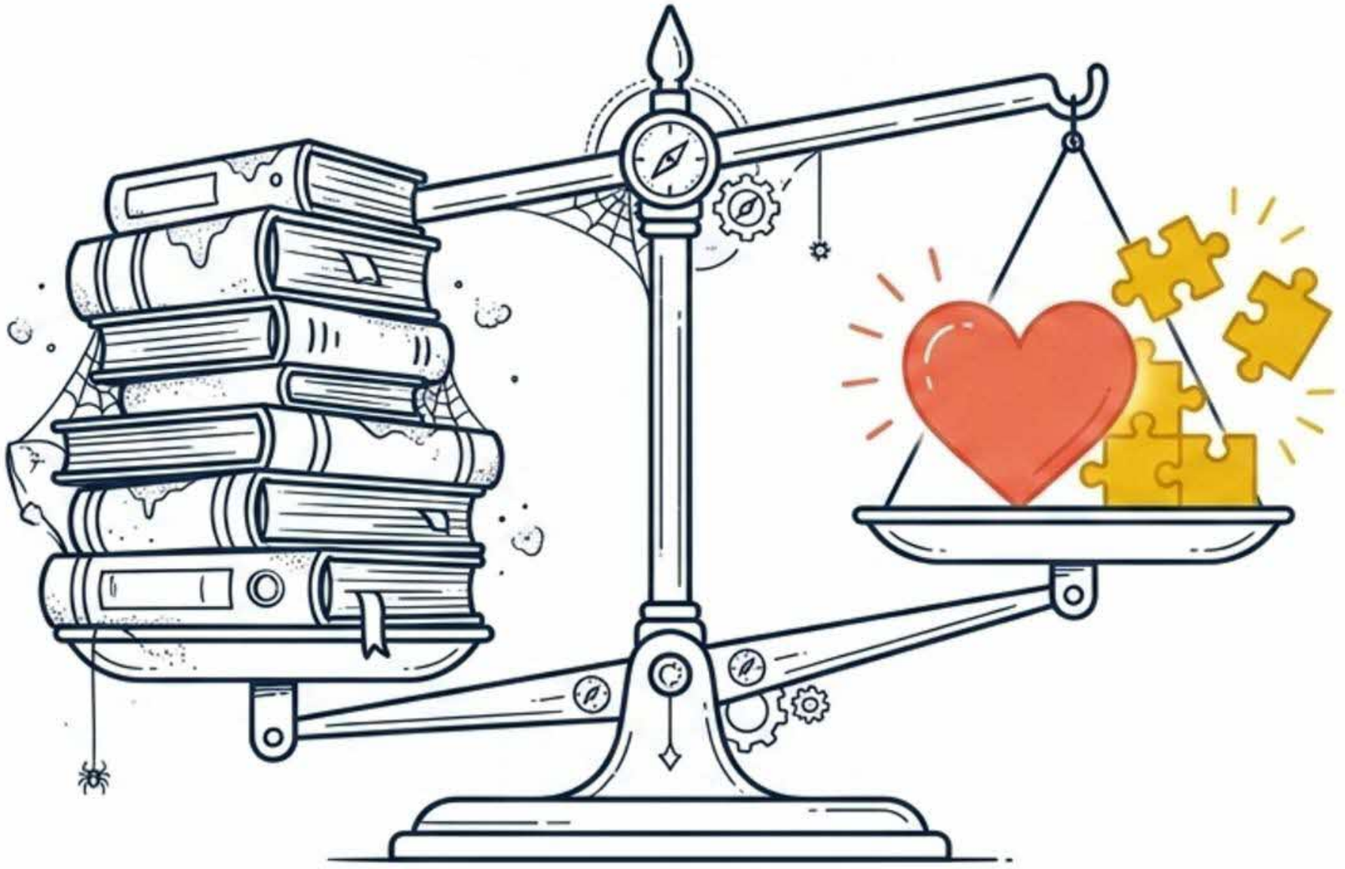
人を役職に合わせるのではない、
仕事を人に合わせる。



MUST（やらなければならない）だけで回す地域から、
WANT（やってみたい）も活かせる地域へ。



制度だけでなく、
「見方」と「参加の形」を変える。

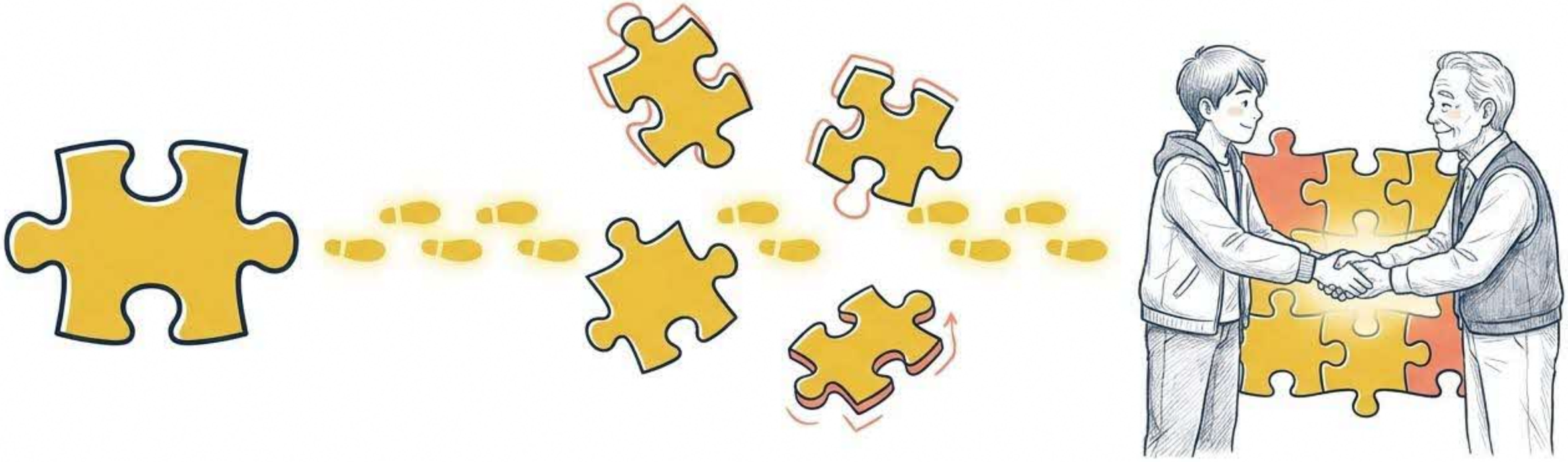


制度と実践の両方を整えることが、コミュニティ再生の一歩となる。

同じ悩みを持つ町内会は、
ほかにもあった。



同じ悩みでも、同じ答えではなかった。



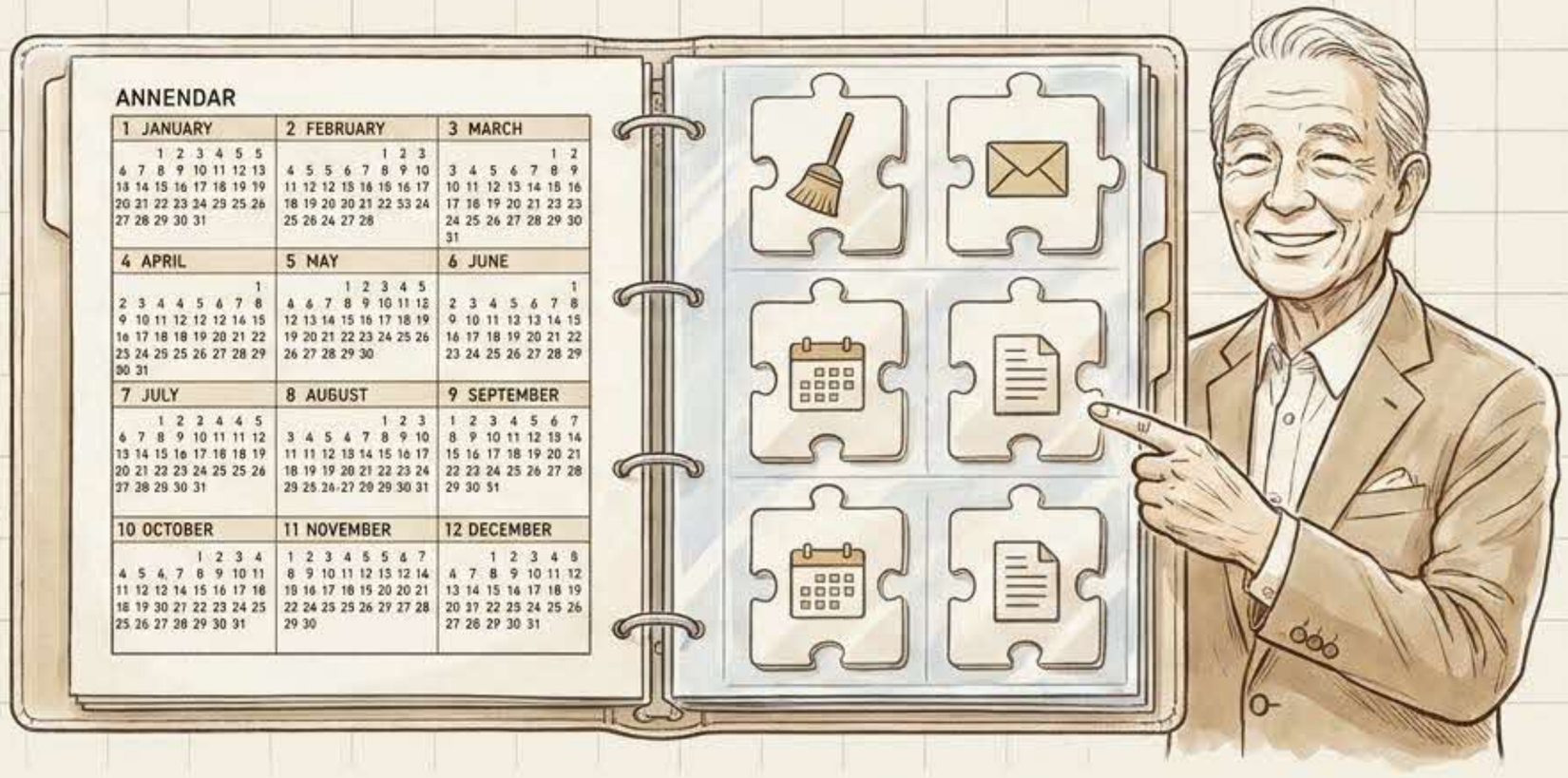
元の地域

再構成・適応

新しい地域

一つの地域の「正解」を持っていくのではなく、考え方を、その地域に合わせて組み替える。

役職の仕事をすべて書き出し、
年間スケジュールに落とし込んだ。



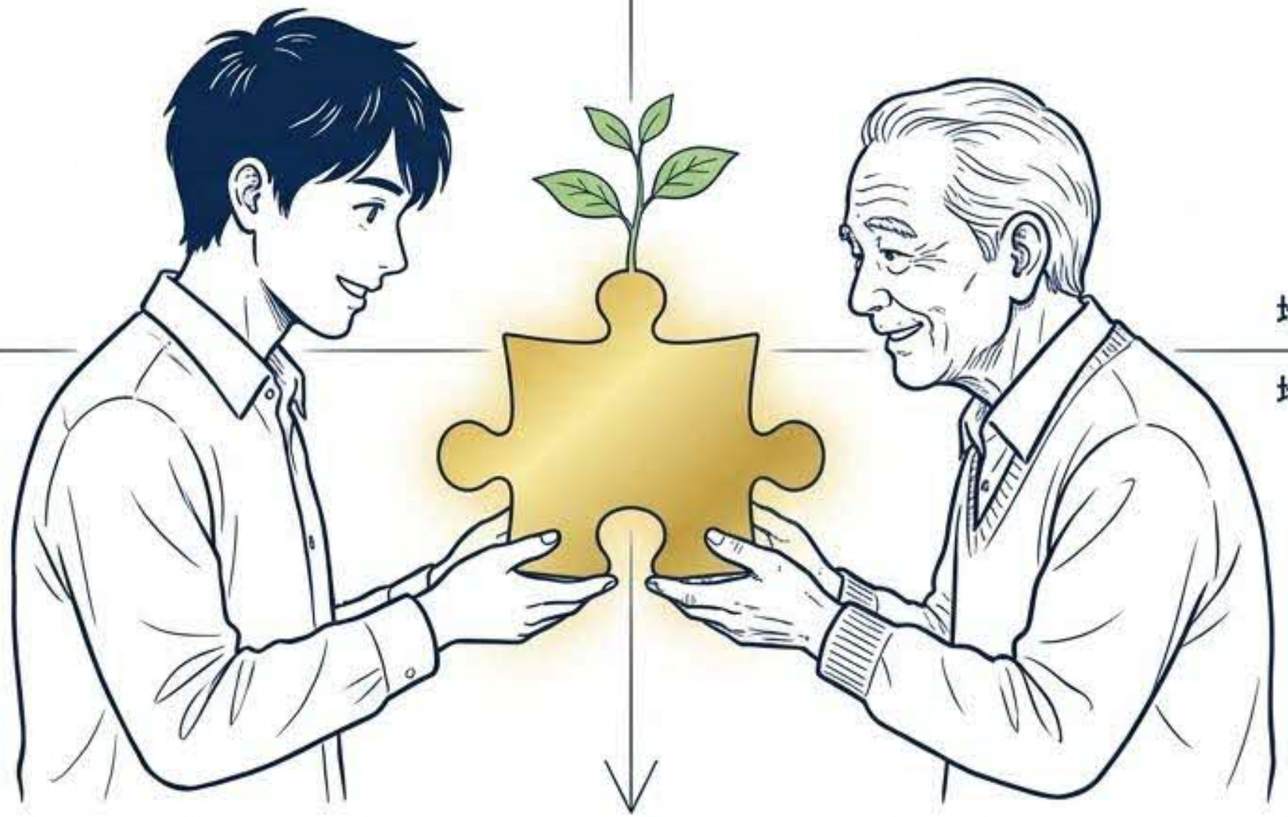
すべての仕事を可視化することが、ブラックボックス化した町内会を開放する鍵となる。

一つの地域で得た知恵が、別の地域でも役に立った。

過去から未来へ（時間の広がり・世代間）

地域から地域へ（空間の広がり）

地域から地域へ（空間の広がり）

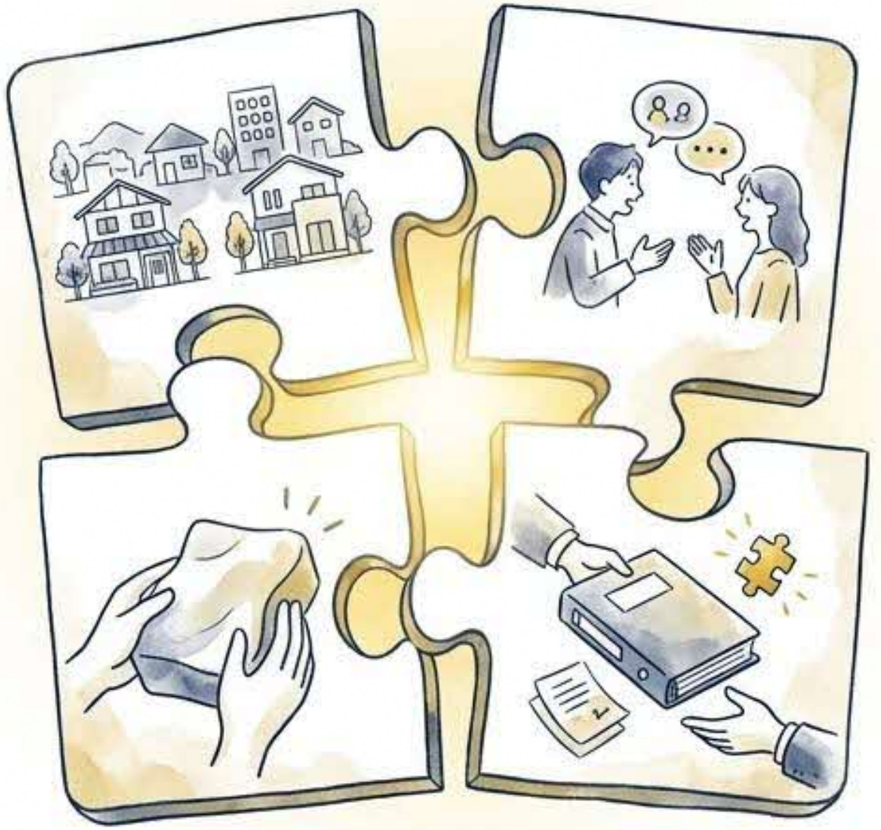


地域から地域へ（空間の広がり）

地域から地域へ（空間の広がり）

地域を越えて渡せるなら、世代を越えても渡せるのではないか。

振り返ると、ずっと同じことをしていました。



見つける → 聴く → 変える → 渡す

僕は最近、こういう仕事を
『継承事業家』と呼んでいます。

継ぐものを見つけ、変えるものを考え、次の人へ渡せる形をつくる人。



災害から見えた、
地域が継ぐべきもの



災害後の地域に必要なのは、
「共助が大事」という『呼びかけ』だけでしょうか。





いざという時、実際に支えになったものは
何だったのでしょうか。



マニュアルだけでは残しきれない、地域の知恵がある。



残したい経験を、次の世代へ渡せる形に。

記憶 → 記録 → 共有 → 次の世代





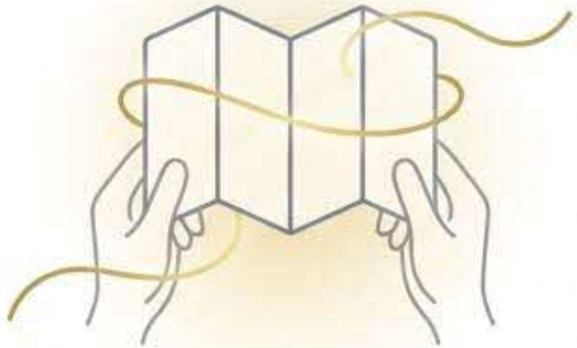






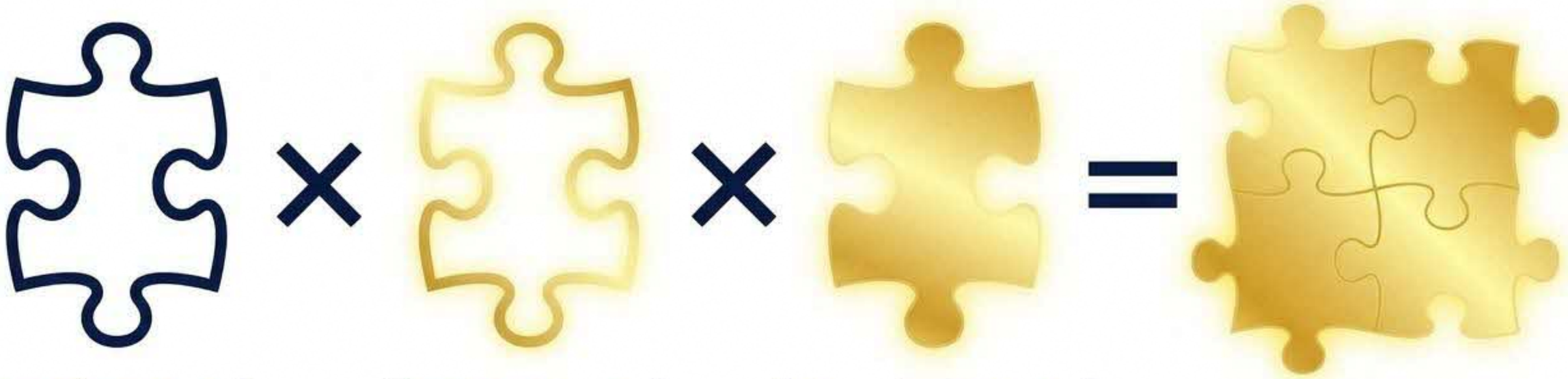
検索やAIで得やすい情報

- 一般的な防災知識
- 制度や避難の原則
- 公開されているデータ



地域で残していく経験

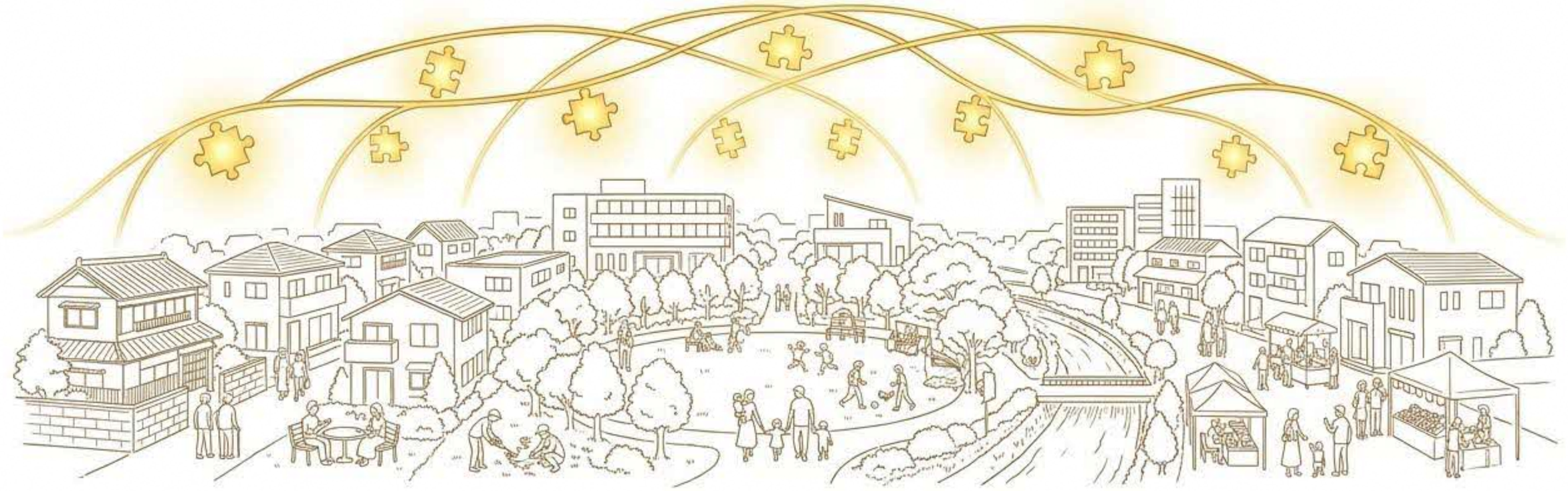
- 「災害時のこの道は危ない」という記憶
- 「あの場所に人が集まった」という事実
- 過去の経験に基づく、その場での判断



［経験する人］　［記録する人］　［次へ伝える人］

一人ひとりには違う役割がある。世代を越えたパズルを合わせる。

コミュニティは、地域の経験を次へ渡す「継承装置」にもなれる。



文化、行事、暮らしの知恵、人の記憶、災害経験。
これらを次へ手渡すシステムとしての地域。

「共助」を呼びかけるだけではなく。

経験を継ぐ活動の中から、
支え合いが育つのではないか。

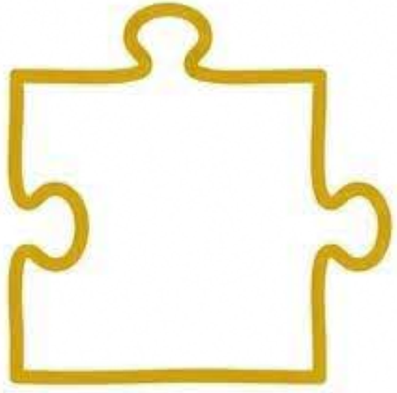






あなたの地域で、次の世代に残したいものは何ですか？



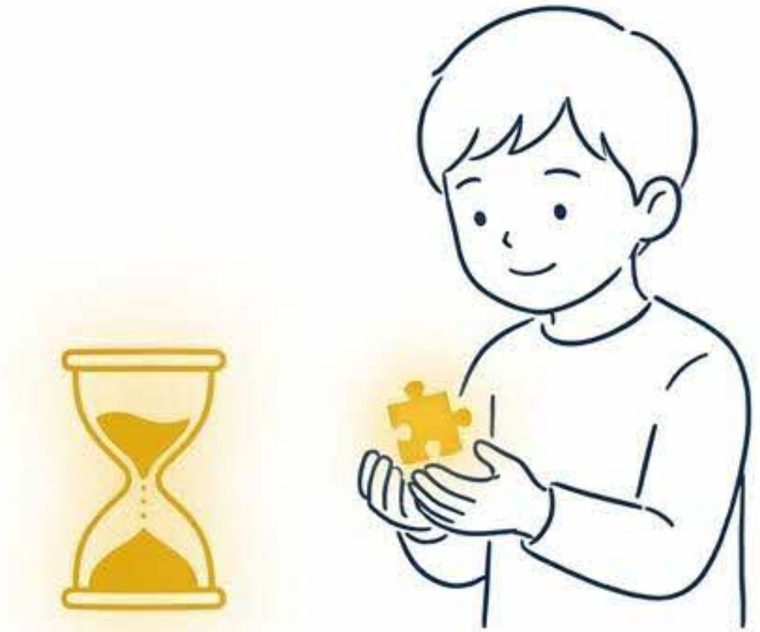




半径5メートルに、
どんな小さな困りごとがありますか？



7日以内に、
15分でできることを一つ。



ご相談・お問い合わせ

- 研修・講演
- 地域ワークショップ
- NCO実証
- 町内会運営クラウド

公式URL／QRコード

https://www.kaneko-haruhito.com/